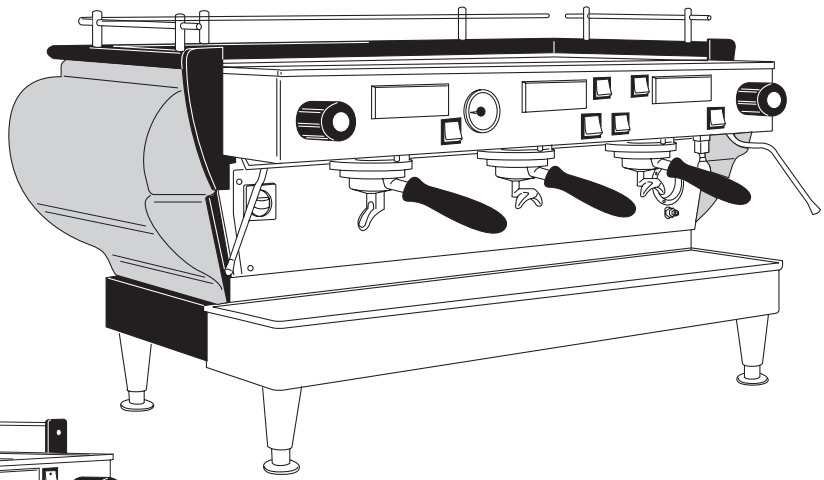
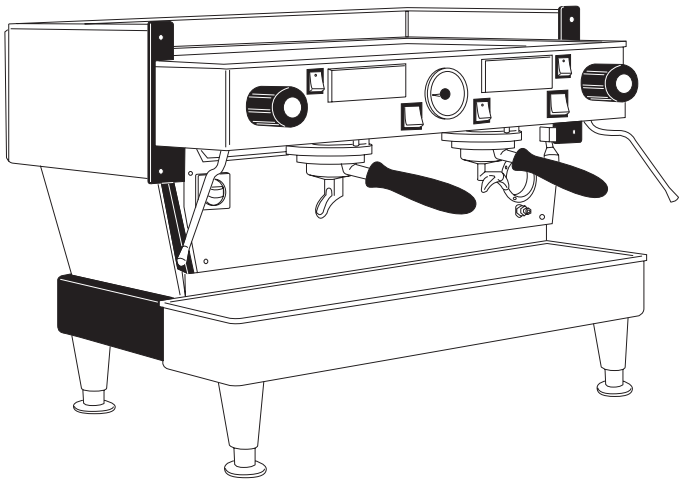
業務用コーヒー抽出機

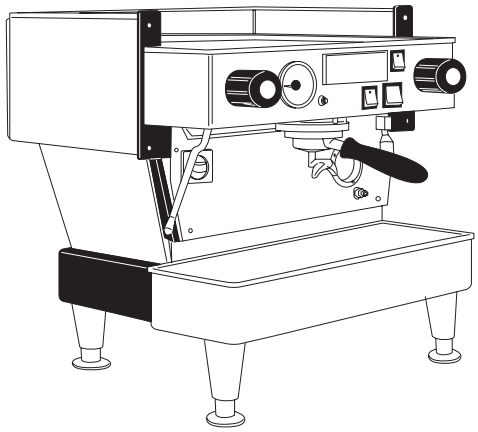
エスプレッソコーヒーマシン

FB-70-2, 3
LINEA-1,2, 3

取扱い説明書







目　次　頁

- 安全上の注意事項……1〜2
- 設置……3
- 各部の名称……4〜5
- 操作方法、清掃……7〜10
  - 始業時手順……7
  - エスプレッソコーヒーの抽出のしかた……7
  - 熱湯の取り出し方……8
  - 蒸気の取り出し方……8
  - コーヒー抽出量の設定……9
  - むらしの設定……9
  - カップの保温……10
  - 抽出装置の清掃（毎日の清掃）……10
  - 終業時手順……10
- 点検について……11
- 仕様……12
- 製品保証書、無料修理規定……13

このたびは LA・MARZOCCO エスプレッソコーヒーマシンをお求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかり易い場所に大切に保管してください。

安全上の注意事項

ご使用になる前に　この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

表示内容は次の通りです。

⚠ **警 告**　守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。

⚠ **注 意**　守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

⚠ 警　告
据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼すること ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
アース工事を必ず行うこと アース工事はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事士による第3種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。)
本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること 電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。
電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回線を使用すること 電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電や火災の原因になります。
屋外で使用しないこと 雨水のかかる場所で使用されますと、漏電や感電の原因になります。
製品に直接水を掛けないこと 漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。
機械内部の電気装置や配線に触らないこと ヤケドや感電のおそれがあります。
電源コードを傷つけないこと 加工したり、引っ張ったり、束ねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
漏電遮断器が「OFF(切)」に作動したときは、お買上げ店に連絡すること 無理にレバーを「ON（入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込むこと ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。
濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、各スイッチを操作しないこと 感電の原因になることがあります。
異常時はメインスイッチを「OFF(切)」にし、電源プラグを抜くか(電源プラグを使用の場合)、専用電源を切って、すぐにお買上げ店に連絡すること 異常のまま運転を続けると、感電や火災の原因になります。
熱湯ノブおよびスチームノブを操作するときは、熱湯ノズル、スチームノズルがドリップトレーに向いているか確認すること　また、顔や手などに向けないこと ヤケドの原因になります。
顔や手、または他人にスチームノズルを向けないこと ヤケドの原因になります。
容器にコーヒー、スチーム、熱湯を取り出す場合、容器はドリップトレー上に置くこと 持ったまま取り出すと、ヤケドの原因になります。
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理は行わないこと 異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電や火災の原因になります。
改造は絶対に行わないこと 改造されると、水漏れや感電、火災の原因になります。
移設は専門業者か、お買上げの店に相談すること 据え付け不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
廃却は専門業者か、お買上げの店に依頼すること 放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。

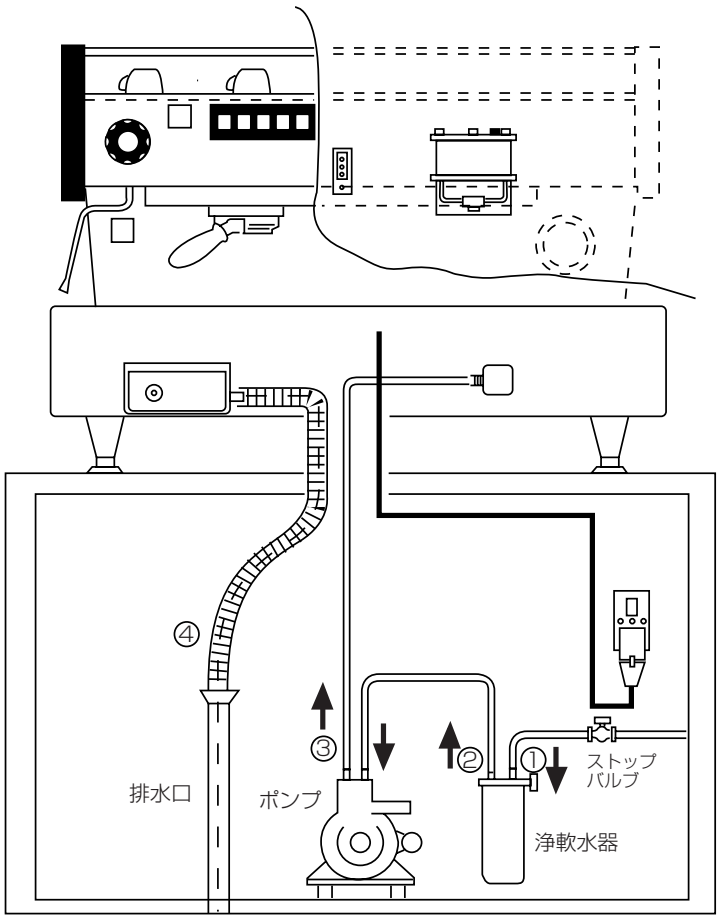
安全上の注意事項

⚠注　意
床面が丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること 据え付けに不備があると、水漏れや転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。
本機の周囲は、壁およびものから10cm以上空けること 熱がこもると電子制御部品に影響をおよぼし、故障の原因になることがあります。
直射日光の当たる所や、周囲の温度が32℃以上の高温になる所には据え付けないこと 電気部品の故障の原因になります。
水をこぼしても良い所に据え付けること 使用中にコーヒーや湯、蒸気などが周囲に飛び散ることがありますので、濡れると不都合なところでは、防水処理をしてください。
可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにすること スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。
熱器具の近くに据え付けたり、機械の上に熱器具を乗せたりしないこと 熱で本体が損傷して故障の原因になります。
凍結の恐れのある場所へは据え付けないこと 機械の故障の原因、および給水管の破裂から浸水し、周囲を濡らす原因になることがあります。 凍結の恐れのある場所への据え付けの場合は、お買上げ店にご相談ください。
本機の上に重量物や水を入れた容器を置かないこと 落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。
製品にもたれたり、乗ったりしないこと ヤケドや製品転倒によるケガの原因になります。
給水に使用する水は、必ず飲料水を使用すること 他の水は、健康障害の原因になることがあります。
水道圧力は、流れている状態で1.5kg/cm²以上で使用すること 水圧が低いと、機械は正常に作動しません。1.5kg/cm²以下の場合は、お買上げ店にご相談ください。
断水の時はメインスイッチを「OFF(切)」にし、水道栓を閉めること 開けておくと通水時“赤水”が発生し、不衛生な水が機械に給水されます。
断水後や定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること 水の腐敗から、健康障害の原因になることがあります。
スチームノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないこと ヤケドの原因になることがあります。
一日の営業終了後は、必ず接液部分および部品は洗浄すること 洗浄しないと雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。
自動洗浄以外の掃除や点検の時は、必ずメインスイッチを「OFF(切)」にして、専用電源も切ること 感電したり、ヤケドの原因になることがあります。
電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときに電源コードを持って抜かないこと 必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因になります。
付属の専用液体洗浄剤を取り扱うときは、ゴム手袋を着用すること 素手で取り扱うと、手荒れ原因になることがあります。
一週間以上ご使用にならない場合は、安全のためメインスイッチを切って、本機専用電源も「OFF(切)」にし、電源プラグを使用の場合はコンセントから抜くこと 発熱や発火の原因になることがあります。
排水管に詰まりがないか始業時に点検を行うこと 排水管が詰まると、漏水から周囲を濡らす原因になることがあります。
漏電遮断器は月に1回、動作確認すること 漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。
本機を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つところにテープ止めすること

設置

下記のパーツが入っているかチェックしてください。（ ）内の数字は、3連用のパーツです。

・1人用フィルターホルダー……1（1）　・タンパー ……1（1）　・排水用ホース［1.5m］ ……1（1）
・2人用フィルターホルダー……2（3）　・エスプレッソ洗浄剤［560g］ ……1（1）　・ホース留め金 ……1（1）
・ブラインドフィルター ……1（1）　・給水用メッシュチューブ ……1（1）　・洗浄ブラシ ……1（1）



※ポンプ及び浄軟水器の設置スペースをご用意ください。

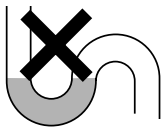
配管例

① 接続の前に、ストップバルブより水を充分に流出し、水道管内の異物を取り除きます。

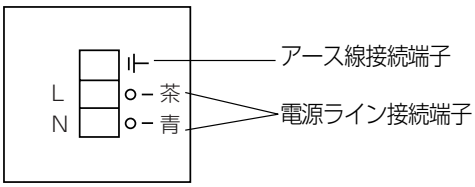
② 浄軟水器OUT側の接続前にも浄軟水器に充分に水を通してカートリッジ内の微粉などを取り除きます。

③ 増圧ポンプのIN・OUTを確認してから本体までの配管接続を行ってください。

④ 排水ホースは、できるだけ最短距離を選び、トラップが発生しないようにご注意ください。



増圧ポンプの電源端子

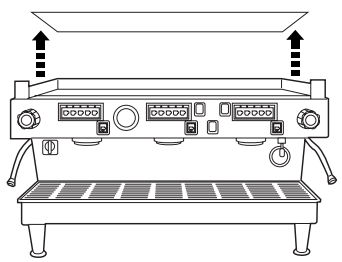


※設置時と浄軟水器の交換時に必ず行ってください。

コーヒーボイラーの空気抜き

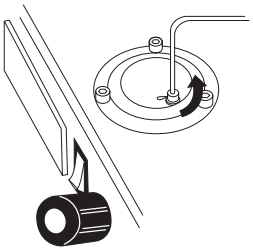
エスプレッソマシンの設置が完了し、ストップバルブを開くと、コーヒーボイラーに水が流入します。
流入水がコーヒーボイラー内の空気を圧迫しますので、空気を逃がすために空気抜きが必要になります。

1 天板（カバープレート）を外してください。

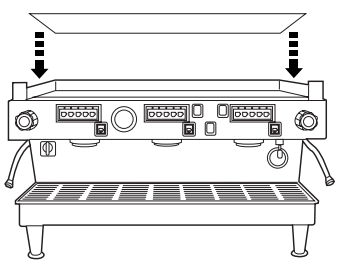


2 抽出装置の小さな六角ボルトをゆるめます。

抽出装置から水が2～3滴出てきましたら空気が抜けた事になります。



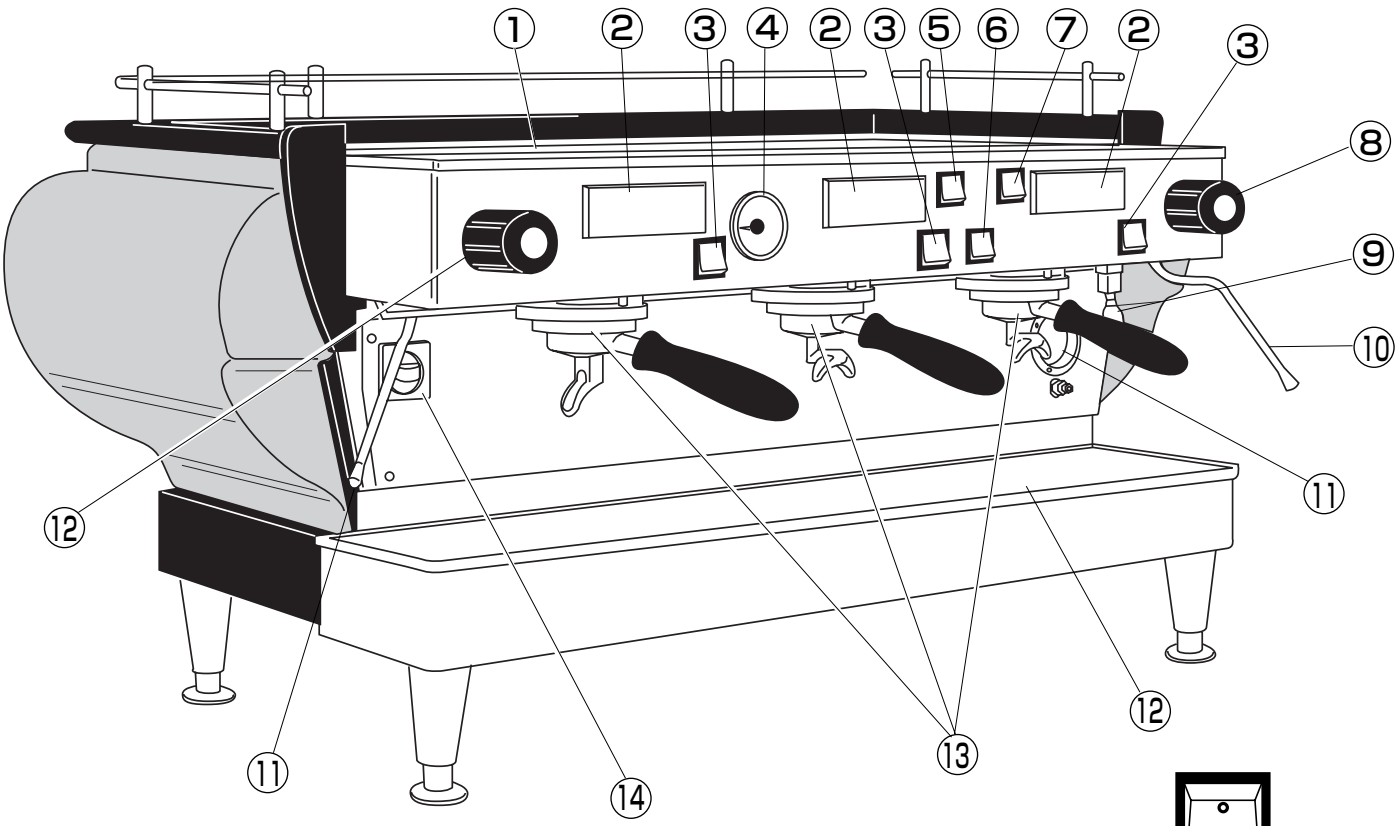
3 六角ボルトを再度締め付けて、天板（カバープレート）を取付けてください。



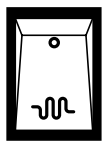
※必ず、上記操作をそれぞれの抽出装置で行ってください。

各部の名称

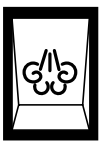
FB-70-3、LINEA-3 共通



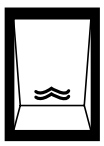
① 天板（カバープレート）
② 抽出パネル
③ マニュアル抽出スイッチ
④ 圧力計（上部：スチームボイラー圧力、下部：抽出圧力）
⑤ カップウォーマースイッチ
⑥ 熱湯スイッチ
⑦ 手動給水スイッチ
⑧ スチームノブ
⑨ 熱湯ノズル
⑩ スチームワンド（ノズル）
⑪ 水位計（スチームボイラー）
⑫ ドリップトレー
⑬ エスプレッソ抽出装置
⑭ 電源スイッチ



⑤ カップウォーマースイッチ

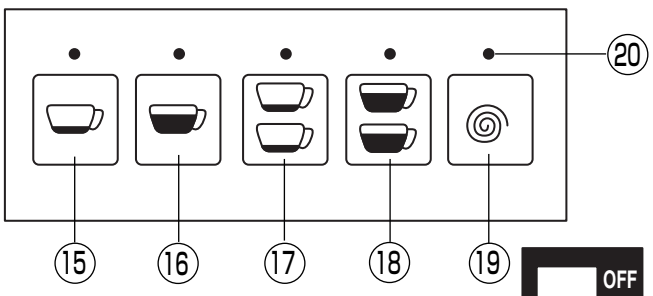


⑥ 熱湯スイッチ



⑦ 手動給水スイッチ

抽出パネル

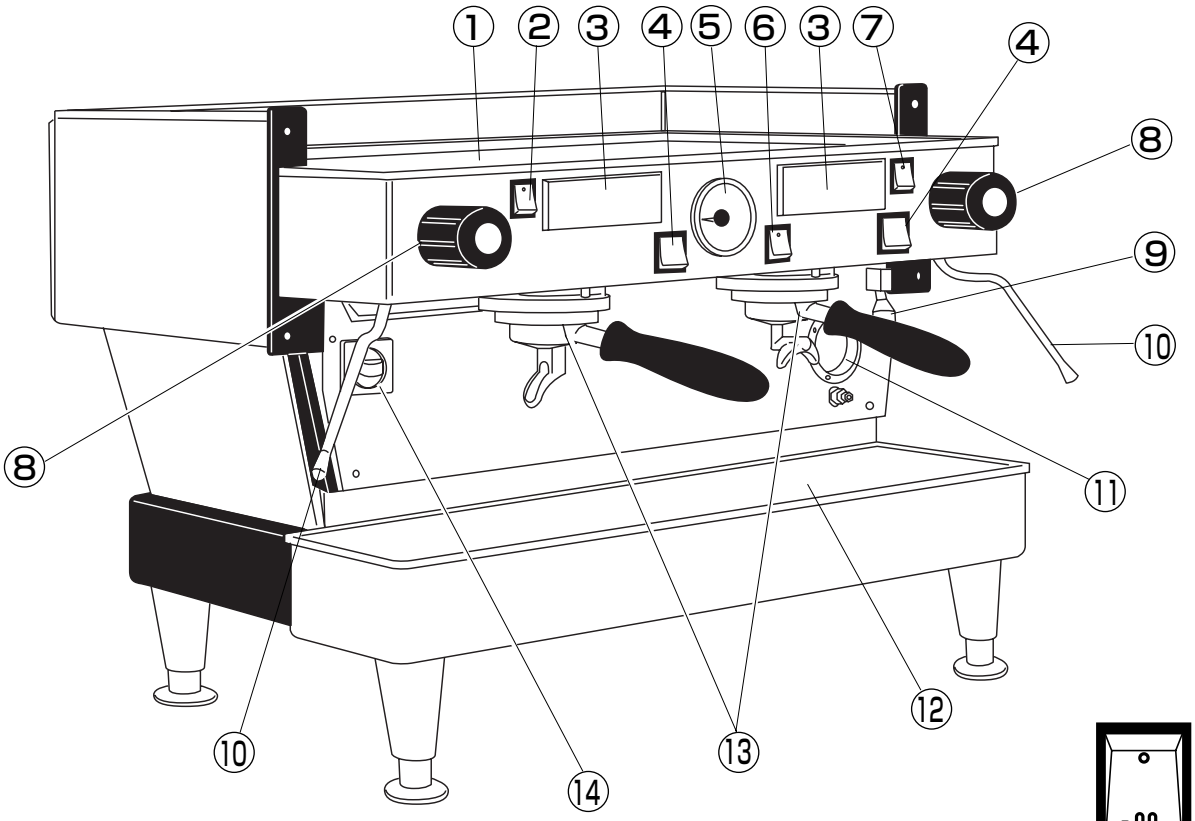


③ マニュアル抽出スイッチ

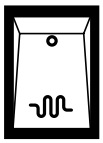
⑮ エスプレッソボタン　小1杯用
⑯ エスプレッソボタン　大1杯用
⑰ エスプレッソボタン　小2杯用
⑱ エスプレッソボタン　大2杯用
⑲ スパイラルボタン(プログラム)
（スタート・ストップ）
⑳ LEDランプ

各部の名称

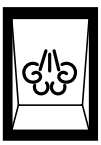
FB-70-2、LINEA-2 共通



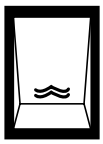
① 天板（カバープレート）
② カップウォーマースイッチ
③ 抽出パネル
④ マニュアル抽出スイッチ
⑤ 圧力計（上部：スチームボイラー圧力、下部：抽出圧力）
⑥ 熱湯スイッチ
⑦ 手動給水スイッチ
⑧ スチームノブ
⑨ 熱湯ノズル
⑩ スチームワンド（ノズル）
⑪ 水位計（スチームボイラー）
⑫ ドリップトレー
⑬ エスプレッソ抽出装置
⑭ 電源スイッチ



② カップウォーマースイッチ

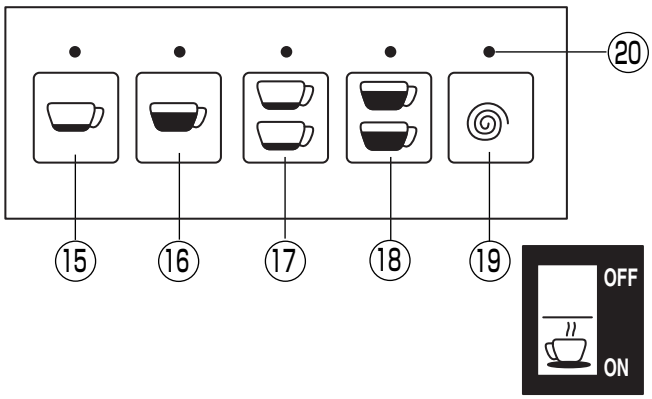


⑥ 熱湯スイッチ



⑦ 手動給水スイッチ

抽出パネル

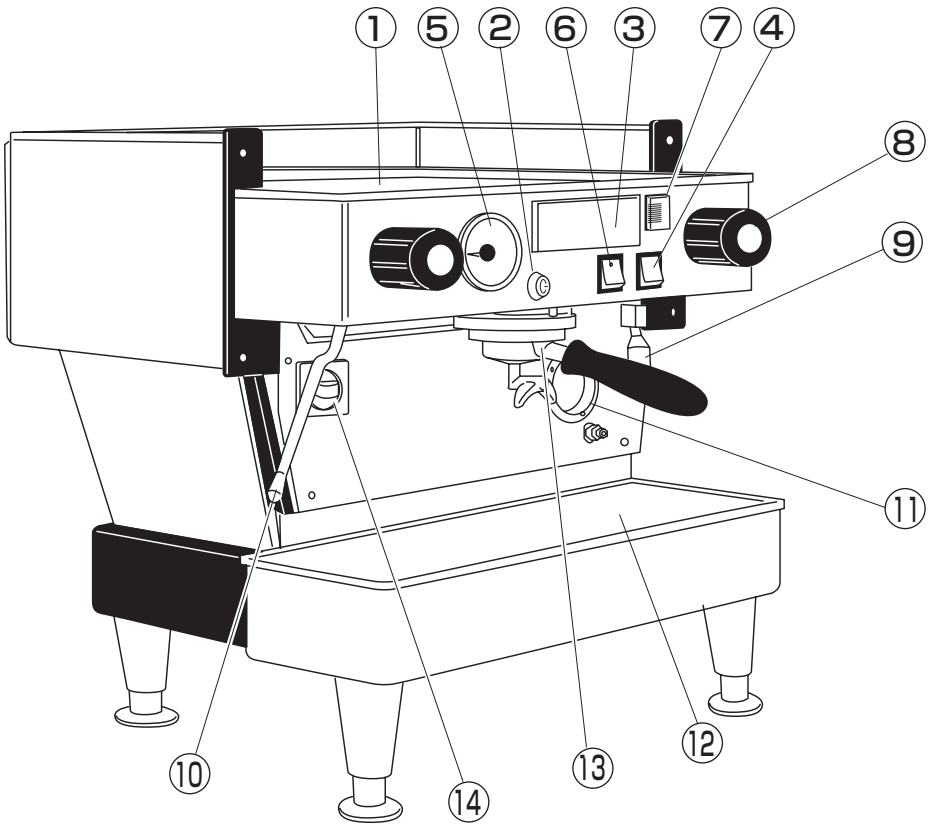


④ マニュアル抽出スイッチ

⑮ エスプレッソボタン　小1杯用
⑯ エスプレッソボタン　大1杯用
⑰ エスプレッソボタン　小2杯用
⑱ エスプレッソボタン　大2杯用
⑲ スパイラルボタン(プログラム)
（スタート・ストップ）
⑳ LEDランプ

各部の名称

LINEA-1

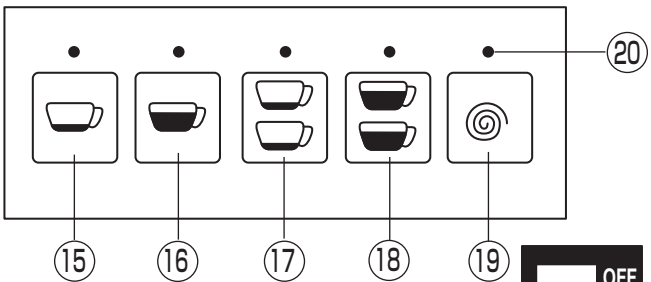


① 天板（カバープレート）
② プログラム設定キーホール
③ 抽出パネル
④ 手動給水スイッチ
⑤ 圧力計（上部：スチームボイラー圧力、下部：抽出圧力）
⑥ マニュアル抽出スイッチ
⑦ ヒーターランプ
⑧ 熱湯抽出ノブ
⑨ 熱湯ノズル
⑩ スチームワンド（ノズル）
⑪ 水位計（スチームボイラー）
⑫ ドリップトレー
⑬ エスプレッソ抽出装置
⑭ 電源スイッチ

④ 手動給水スイッチ

⑥ マニュアル抽出スイッチ

抽出パネル



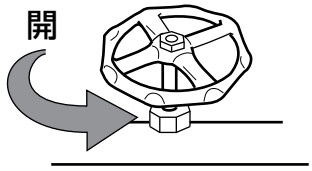
⑥ マニュアル抽出スイッチ

⑮ エスプレッソボタン　小1杯用
⑯ エスプレッソボタン　大1杯用
⑰ エスプレッソボタン　小2杯用
⑱ エスプレッソボタン　大2杯用
⑲ スパイラルボタン(プログラム)
（スタート・ストップ）
⑳ LEDランプ

操作方法

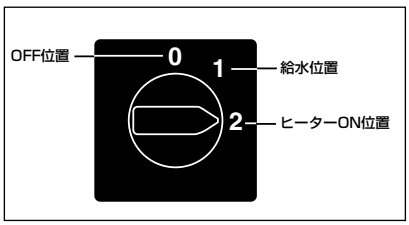
始 業 時 手 順

1 **水道の元栓を開いてください。**



2 **電源スイッチを１(給水位置)に回してください。**
ボイラータンク内の水量が減っている場合は、自動的に給水が始まります。適量範囲まで給水されれば、自動的に給水は停止します。

3 **水位計の水位を確認後、電源スイッチを 2(ヒーターON)まで回してください。ヒーターに通電されてボイラータンク内の水を沸かします。**



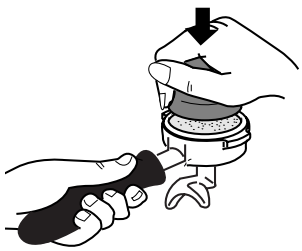
4 **ボイラータンクの圧力表示が、適正範囲(1～1.5バール)まで上がれば準備完了です。**
表示が適正圧力まで上がるのに、機種により20分～35分程度かかります。

エスプレッソコーヒーの抽出のしかた

1 **フィルターホルダーが冷たい時は、抽出したコーヒーがぬるくなりますので、コーヒー抽出ボタンを押して熱湯だけを出し、フィルターホルダーをあらかじめ温めてください。**
(ポルトフィルターはフィルターホルダーにセットしておいてください。)

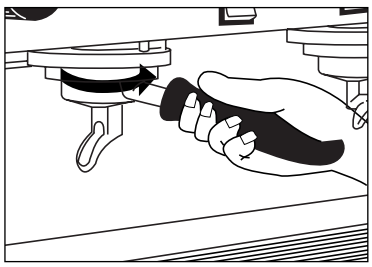
2 **フィルターホルダーを、抽出装置より外してください。**

3 **フィルターホルダーのポルトフィルター内に、適量のコーヒー粉を入れてください。**



4 **タンパーでコーヒー粉を軽く押さえて平らにしてください。**
フィルターのフチについた粉は手の平で拭き落としてください。

5 **フィルターホルダーを左約40°位の方向より抽出装置に入れ、正しく納まれば、右方向へ止まるまで回してください。**

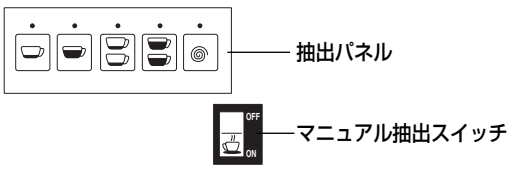


6 **抽出口の下にカップを置き、コーヒー抽出ボタンを押してください。**

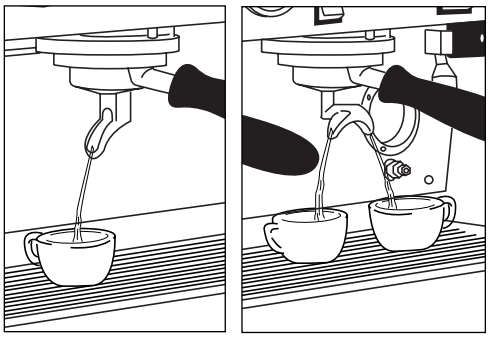
7 **設定された量のコーヒーが抽出されると、自動的に抽出が停止します。**
(コーヒー抽出量の変更は、P9「湯量の設定」を参照して行ってください。)

8 **抽出後のフィルターホルダー内のコーヒーカスは、すぐに捨てずに次の使用時までそのままにしておいてください。**

●マニュアル抽出スイッチは、手動でエスプレッソコーヒーを抽出する時に使用してください。



■エスプレッソコーヒーカップの置き方



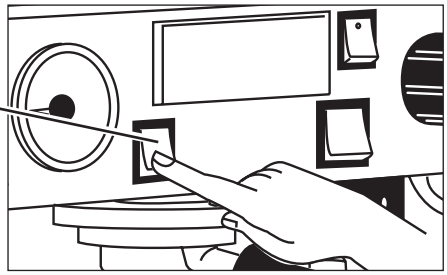
※左右のコーヒーカップの抽出量にバラツキがある場合は、本体が水平に置かれているかご確認ください。

操作方法

熱湯の取り出し方

1 **熱湯ノズルの下に容器を置いてください。**

2 **熱湯スイッチを押してください。**
設定されている量の熱湯が給湯され、自動的で停止します。

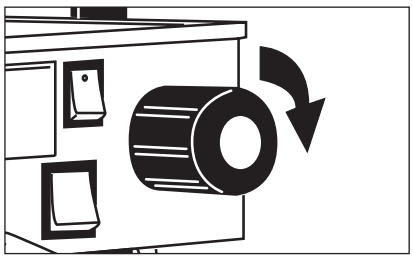


湯量の設定方法

1 **スパイラルボタンを長押ししますと上部LEDランプが点滅します。**
5秒以内に熱湯スイッチを押してお好みの湯量を抽出してください。

2 **お好みの量まで抽出すると、再度熱湯スイッチを押してください。**
抽出が止まり点滅しているLEDランプが消えて、変更した湯量が記憶されます。

蒸気の取り出し方



1 **スチームノズルを、あらかじめドリップトレーに向けておいてください。**

2 **スチームノブを回して開き、水抜きをしてください。**
この時、熱湯が勢い良く飛び出しますのでご注意ください。

3 **蒸気が出るようになれば、いったんスチームノブを戻して閉じ、**
スチームノズルを飲料の入った容器に入れてください。

4 **再度、スチームノブをゆっくりと回して開いてください。**
使用後は、スチームノブを戻して閉じ、容器をノズルからはずしてください。

5 **スチームノズルに付着した液を、水でしぼった清潔な布で拭き取ってください。**

6 **その後もう一度スチームノブを回して開き、数回蒸気を出す動作を行ってください。**
そのままにしておきますと、ノズル内に付着した液（ミルクなど）が固まり、
不衛生ですし、ノズル内が詰まり、故障の原因になることがあります。

コーヒー抽出量の設定（LINEA-1の場合）

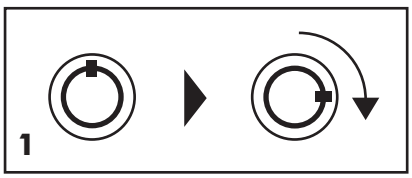
1 **プログラム設定キーホールにキーを差し込み、**
時計回りに90°回転させてください。

2 **操作パネルのスパイラルボタンを一回押して、**
抽出量を変えたいエスプレッソボタンを押してください。

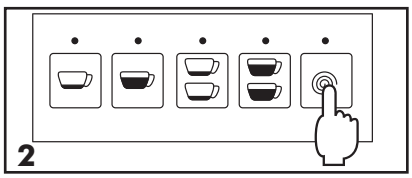
3 **好みの抽出時間になりましたらもう1度**
エスプレッソボタンを押して抽出を止めてください。

4 **キーを元に戻して、キーホールから抜いて設定完了。**

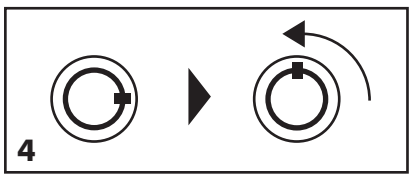
続けて他のボタンの抽出量を変更したい場合は、キーを抜かずに
先ほどと同様に **2**~**4**の項目を行ってください。



時計回りに90°回転させます。



スパイラルボタンを押すとボタン上の
ランプが点灯します。



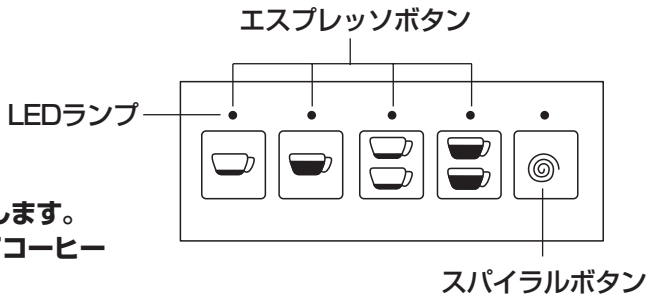
設定が終わりましたら反時計回りに90°
回転させてキーを抜きます。

操作方法

コーヒー抽出量の設定（LINEA-1以外の場合）

1 **コーヒー粉を入れたフィルターホルダーをエスプレッソ抽出装置にセットしてください。**

2 **抽出口の下にコーヒーカップを置いてください。**



3 **スパイラルボタンを長押ししますと上部LEDランプが点滅します。5秒以内に設定量を変更したいエスプレッソボタンを押してコーヒーを抽出してください。**

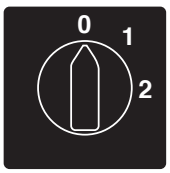
4 **お好みの量まで抽出すると、再度スパイラルボタンを押してください。抽出が止まり点滅しているLEDランプが消えて、変更した設定量が記憶されます。**

※左端の抽出装置を設定しますと、その他の抽出装置も同じ設定となります。
抽出装置の設定をそれぞれ異なる設定にする場合は、必ず左端の抽出装置より設定してください。

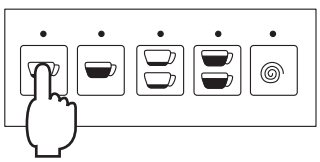
むらし機能の設定

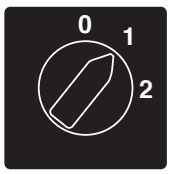
エスプレッソボタン　小1杯用、大1杯用の2ヶ所のみのむらし機能の設定となります。
（但し、むらし時間の変更はできません。）

1 **電源スイッチを「O」OFFの位置に回してください。**

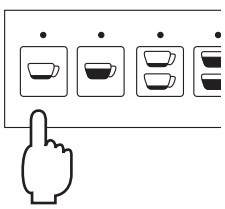


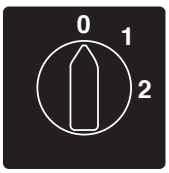
2 **操作パネルの左端のエスプレッソボタン小1杯用ボタンを押しながら、電源スイッチを「1」の位置に回します。**
抽出パネルのLEDランプが点灯しているのを確認してください。





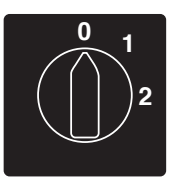
3 **エスプレッソボタン 小1杯用ボタンから指を離し、電源スイッチを「O」の位置に回します。**
蒸らし機能が設定されました。
電源スイッチを「2」の位置に回し、通常の抽出作業を行ってください。
小1杯用、大1杯用の2ヶ所にむらし機能が設定されました。



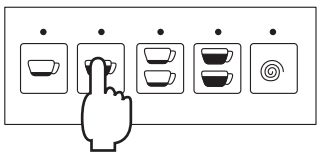


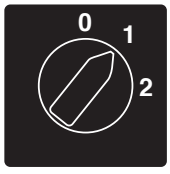
むらし機能の解除方法

1 **電源スイッチを「O」OFFの位置に回してください。**

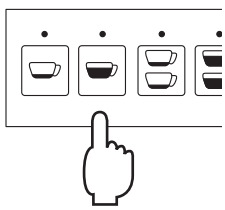


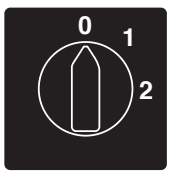
2 **操作パネルの左から2番目のエスプレッソボタン 大1杯用ボタンを押しながら、電源スイッチを「1」の位置に回します。**
抽出パネルのLEDランプが点灯しているのを確認してください。





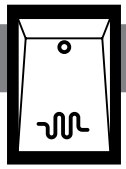
3 **エスプレッソボタン 大1杯用ボタンから指を離し、電源スイッチを「O」の位置に回します。**
むらし機能の設定を解除しました。
電源スイッチを「2」の位置に回し、通常の抽出作業を行ってください。





清掃

カップの保温



1 **天板（カバープレート）にカップを伏せて並べて置いてください。**
カップの水分は十分拭き取ってください。（漏電の原因となることがあります。）

2 **カップウォーマースイッチを押してください。**
カップウォーマースイッチランプが点灯してカップウォーマーヒーターに通電され、カップを温めます。

抽出装置の清掃（毎日の清掃）

1 **抽出装置より、フィルターホルダーを外してください。**

2 **コーヒーカスを捨ててください。**

3 **付属の洗浄ブラシを使用してシャワープレートの外側を洗ってください。**

4 **ブラインドフィルターをフィルターホルダーに取り付け、ティースプーン1杯（約8g）の洗剤を入れます。**

5 **フィルターホルダーを抽出装置に取り付けて抽出ボタンを押し、約30秒間湯を送り、5秒間停止します。**

6 **さらに約10秒間ON、約10秒間OFFを10回程繰り返してください。**

7 **フィルターホルダーを外し、10秒間ON、5秒OFFを5回以上繰り返してすすぎ洗いしてください。**

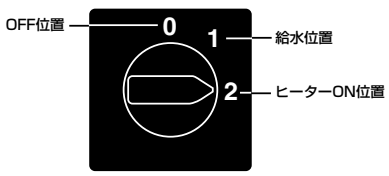
8 **再度、洗浄した抽出装置の抽出ボタンを押して熱湯を出し、シャワープレート部をきれいにすすぎ洗いしてください。**
注意：洗剤成分が残らない様に、すすぎ洗いを必ず行ってください。

9 **フィルターホルダー、ポルトフィルター、ブラインドフィルターをぬるま湯の入った容器などに入れて洗浄してください。**

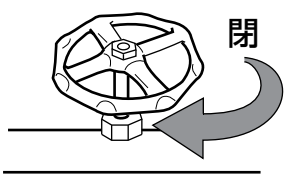
終業時手順

終業時の一連のクリーニングが終了したらメインスイッチを“0”(電源OFF) の位置にして、水道の元栓を締めてください。

1 **電源スイッチを 0（OFF位置）の位置に回します。**



2 **水道の元栓を閉めます。**

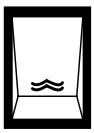


清掃

点検について

1 **ボイラー水位計の水位が、適量範囲内にありますか？**

本機は、ボイラータンクへの給水は自動的に行いますが、時々水位計を見て水位が適量範囲内にあるか確認してください。
もし、自動給水回路が働かず水位が低下した場合は、ヒーターが空焚きになり危険ですから、使用を止めてお買い上げ店へご連絡ください。
やむをえず一時的に使用される場合は、
手動給水スイッチを押して手動で給水してください。



2 **ボイラータンク圧力（圧力計に表示）が適正範囲内にありますか？**

本機は、ボイラータンク上部に安全弁がついており、ボイラータンク内の圧力が上がりすぎると、自動的に安全動作を行いますが、ボイラータンク圧力が異常上昇し適正範囲外になるときは、危険ですからすぐに電源を切り、機械を止めてお買い上げ店へご連絡ください。
適正範囲内は、圧力計の上部の目盛り1～1.5バールまでです。

仕様

	LA・MARZOCCO エスプレッソコーヒーマシン	
モデル	FB-70-2	FB-70-3
外形寸法(mm)	幅 840 / 奥行 640 / 高さ 560	幅 1080 / 奥行 640 / 高さ 560
重量(乾燥重量)	58kg	74kg
電源：消費電力	単相200V：50/60Hz 3600W 18A	単相200V：50/60Hz 4800W 24A
ボイラー容量	コーヒー：3.4 ℓ 、スチーム：7 ℓ	コーヒー：5 ℓ 、スチーム：11 ℓ
エスプレッソ抽出能力	400杯／h	600杯／h
熱湯抽出能力	16 ℓ／h	19 ℓ／h
初動沸き上がり時間	20分	35分

	LA・MARZOCCO エスプレッソコーヒーマシン	
モデル	Linea-2	Linea-3
外形寸法(mm)	幅 690 / 奥行 560 / 高さ 525	幅 930 / 奥行 560 / 高さ 525
重量(乾燥重量)	58kg	74kg
電源：消費電力	単相200V：50/60Hz 3600W 18A	単相200V：50/60Hz 4800W 24A
ボイラー容量	コーヒー：3.4 ℓ 、スチーム：7 ℓ	コーヒー：5 ℓ 、スチーム：11 ℓ
エスプレッソ抽出能力	400杯／h	600杯／h
熱湯抽出能力	16 ℓ／h	19 ℓ／h
初動沸き上がり時間	20分	35分

	LA・MARZOCCO エスプレッソコーヒーマシン
モデル	Linea-1
外形寸法(mm)	幅 490 / 奥行 560 / 高さ 525
重量(乾燥重量)	44kg
電源：消費電力	単相200V：50/60Hz 2500W
ボイラー容量	コーヒー：1.8 ℓ 、スチーム：3.5 ℓ
エスプレッソ抽出能力	200杯／h
熱湯抽出能力	12 ℓ／h
初動沸き上がり時間	15分

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

MEMO

MEMO

ラッキーコーヒーマシン 株式会社

本　　社　〒658-0023　神戸市東灘区深江浜町95番　☎(078)451-8300 FAX (078)451-5777

■営業支店・営業所

広域営業部	〒105-8577	東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル 4F	☎(03)5400-3483 FAX (03)5400-3528
東日本支店・ショールーム	〒146-0082	東京都大田区池上3丁目32-13	☎(03)5747-5577 FAX (03)3755-4091
札幌営業所	〒004-0005	札幌市厚別区厚別東五条1丁目4番26号	☎(011)898-4988 FAX (011)897-1467
名古屋支店・ショールーム	〒451-0046	名古屋市西区牛島町5番4号 1F,2F	☎(052)587-7678 FAX (052)587-7677
大阪支店・ショールーム	〒537-0001	大阪市東成区深江北3丁目5番7号	☎(06)4259-2655 FAX (06)4259-2660
西日本支店・ショールーム	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前1丁目9-3 福岡MIDビル2F	☎(092)433-0178 FAX (092)433-0174

13.05 KI